

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	3	学年・学科	3学年・D科
教科書	教育図書「保育基礎」		副教材	教育図書「保育基礎」ワークノート			

学習目標	(1) 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (2) 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身につける。 (3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協動的に取り組む態度を身につける。
学習方法	講義を通して、保育に関わる基礎的・基本的な知識を身につけ、家庭科技術検定保育検定を通して、技術を身につけます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け					
			100%	45%	55%			
a	知識・技能 (専門教科は知識・技術)	・子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身につけている。 ・子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	45%	25%	20%	
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%	
			後期中間	主体的に学習に取り組む態度	25%	0%	25%	
				100%	45%	55%		
	b	思考・判断・表現	・子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身につけている。	前期	知識・技能(技術)	45%	25%	20%
				中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%
後期中間				主体的に学習に取り組む態度	25%	0%	25%	
			100%	45%	55%			
c	主体的に学習に取り組む態度	・子どもの発達や保育にかかわる職業について関心をもち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする意欲的な態度を身につけている。	後期	知識・技能(技術)	45%	25%	20%	
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%	
			後期中間	主体的に学習に取り組む態度	25%	0%	25%	
			100%	45%	55%			
			後期	知識・技能(技術)	45%	25%	20%	
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%	
			後期中間	主体的に学習に取り組む態度	25%	0%	25%	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1章 子どもの保育 ①保育の意義 ②保育の環境 第2章 子どもの発達 ①子どもの発達の特性 ②乳幼児の発育と発達	・人の生涯発達について、特に乳幼児期の心身の発達は著しく人間形成の基盤となることについて学習します。 ・誕生から幼児期までの子どもの身体発育、生理的特徴、人間関係の発達、心の発達について学習します。	○	○	○	<a>子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。 <b>母子健康手帳などの資料を見ながら、発達の各側面が相互に関連し合っていることを読み取り、具体的に考察することができる。 <c>自身が保育者になることを想像しながら、子どもにとって適切な保育を行うためにかかわり方を工夫するなど、積極的に取り組もうとしている。	・授業ノート ・授業レポート ・発表態度 ・作品製作 ・定期考査 ・小テスト
前期末	第3章 子どもの生活 ①子どもの健康と生活 ②子どもの食事 ③子どもの衣服と寝具 ④子どもの健康と安全	・子どもの健康と生活(食生活・衣生活)について学習します。 ・子どもの健康管理と安全管理について学習します。	○	○	○	<a>乳幼児期の食生活の特徴や、発達に必要なエネルギー・栄養素などについて理解している。 <b>現代の子どもの食生活の変化について、健康や生活習慣に関する課題を見つけ、自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる。 <c>保育施設で行われている食育活動などに関心をもち、地域での子どもの食生活にかかわる取り組みについて主体的に情報を収集しようとしている。	・授業ノート ・授業レポート ・発表態度 ・作品製作 ・定期考査 ・小テスト
後期中間	第5章 子どもの文化 ①子どもの文化の意義 ②子どもの文化を支える場 ③子どもと遊び ④子どもの表現活動	・子どもの遊びやその表現方法について学びます。	○	○	○	<a>子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している。 <b>現代の子どもの遊びを取り巻く現状を理解し、課題について考察することができる。 <c>身近な地域の遊びについて関心をもち、公園などの利用状況や、遊び場を支えるNPO法人などの活動について積極的に調べようとしている。	・授業ノート ・授業レポート ・発表態度 ・作品製作 ・定期考査 ・小テスト
後期末	第4章 子どもの福祉 ①保育にみる児童観 ②児童福祉の理念と法規・制度	・子どもの福祉について歴史的な経緯を知るとともに、児童福祉に関する法律・施設について学習します。	○	○	○	<a>児童福祉の理念と特徴、法律や制度、福祉にかかわる施設の役割について理解している。 <b>児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考察し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 <c>自身が保育者になることを想像しながら、子どもや保護者を支えることを目標にして積極的に支援策を考えようとしている。	・授業ノート ・授業レポート ・発表態度 ・作品製作 ・定期考査 ・小テスト